

世界が進むチカラになる。



グラフで見る関西経済 (2024年8月)

2024年8月6日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断～足踏み状態となっている

【今月のポイント】

- 関西経済は、足踏み状態となっている
- 5月の生産は、前月比-0.4%と3カ月ぶりにマイナスとなった。均してみると足踏み状態となっている
- 6月の実質輸出は、2カ月連続で上昇したが水準は低く、均してみると弱い動きとなっている
- 実質賃金の前年比減少が続いているが、小売販売額はインバウンドの好調もあって、名目、実質ともに増加している
- 公共投資(請負金額)は、例年に比べ高めの水準となっている

| 項目 | 現状 |
|-------------|----------------|
| 景気全般 | 足踏み状態となっている |
| 生産 | 足踏み状態となっている |
| 輸出 | 弱い動きとなっている |
| 設備投資 | 増加している |
| 雇用 | 持ち直しの動きがみられる |
| 賃金 | 持ち直しの動きがみられる |
| 個人消費 | 持ち直しの動きがみられる |
| 住宅投資 | 横ばい圏で推移している |
| 公共投資 | 高めの水準となっている(↑) |

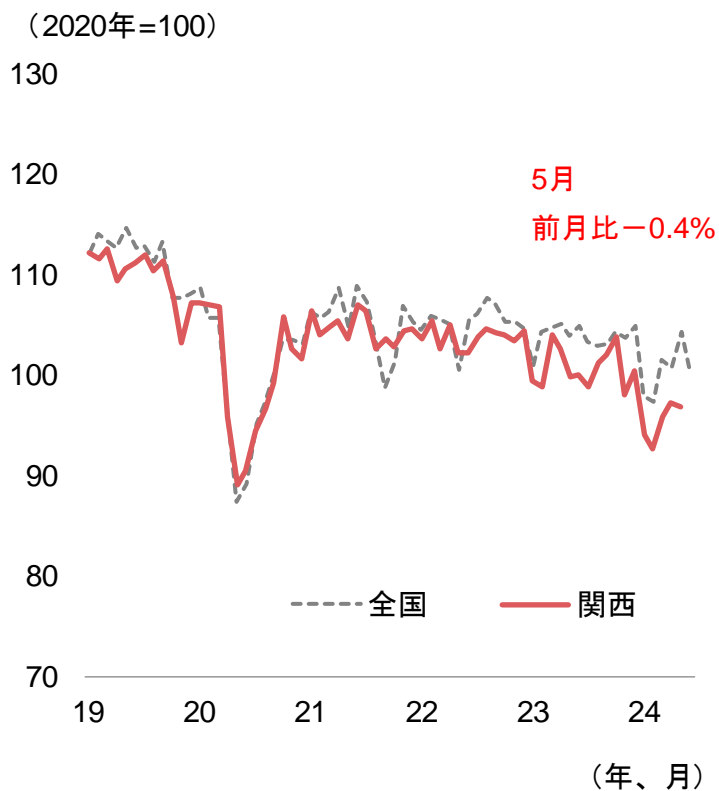
注: ()内は前月からの変化の方向

公共投資は、「例年並みの水準となっている」から上方修正(↑)

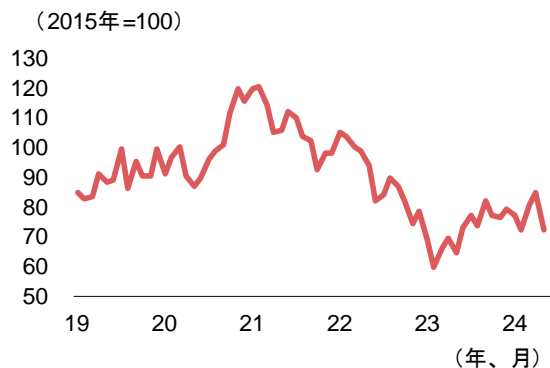
生産

5月の鉱工業生産(関西)は前月比-0.4%と3ヵ月ぶりにマイナスとなった。均してみると足踏み状態となっている。業種別では、電子部品デバイス、電気機械、汎用・生産用・業務用機械などが低下した。

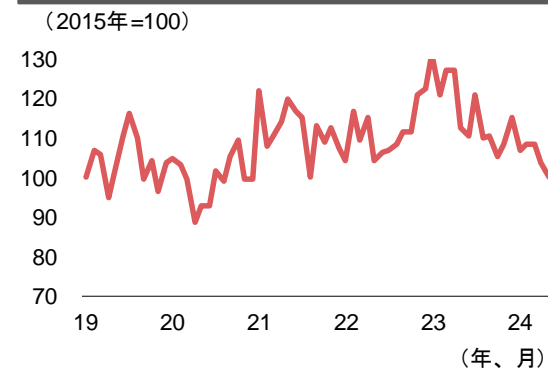
鉱工業生産指数



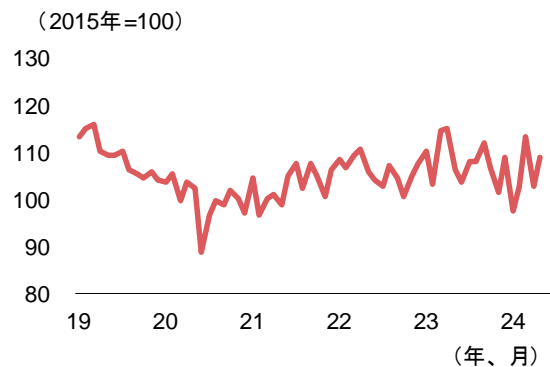
電子部品デバイス



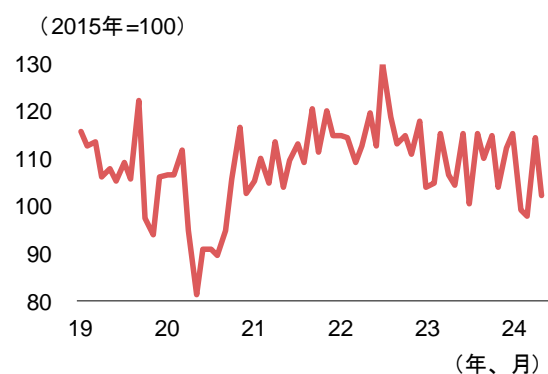
電気機械



化学



汎用・生産用・業務用機械



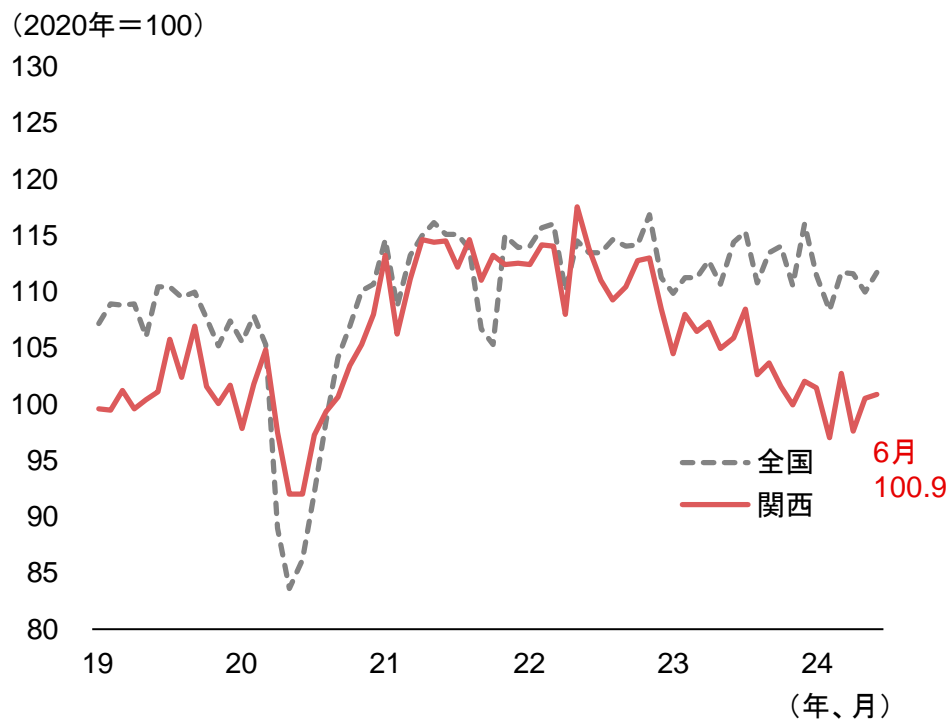
(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

6月の実質輸出(季節調整値)は、前月比+0.4%の100.9と2ヵ月連続で上昇したが水準は低く、均してみると弱い動きとなっている。

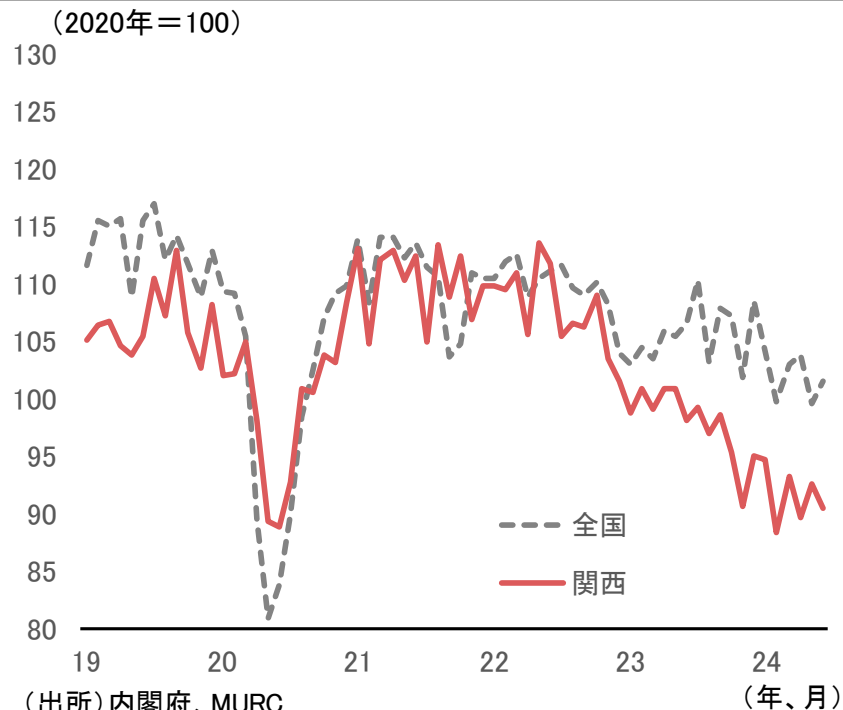
当社試算による6月の輸出数量指数(季節調整値)は2ヵ月ぶりに低下、総じて弱い動きとなっている。

実質輸出指数(季節調整値)



(出所)日銀大阪支店「実質輸出入」

輸出数量指数(季節調整値)



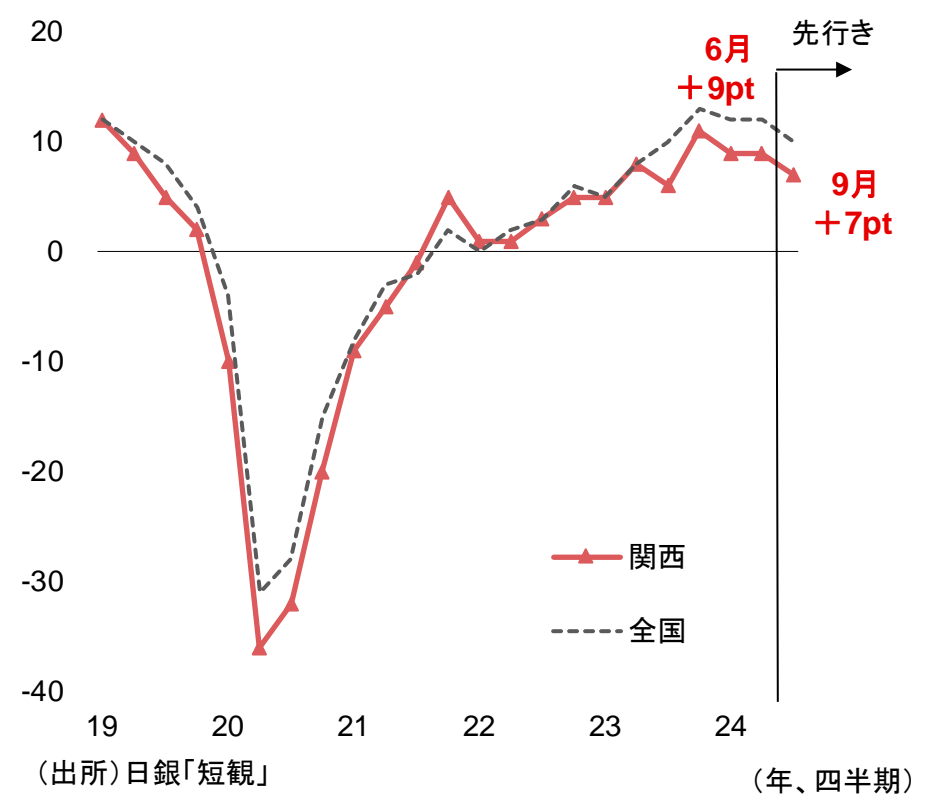
(出所)内閣府、MURC

(注)関西の数量指数はMURC試算。輸出金額(指数)を輸出価格指数(全国)で除したものの。

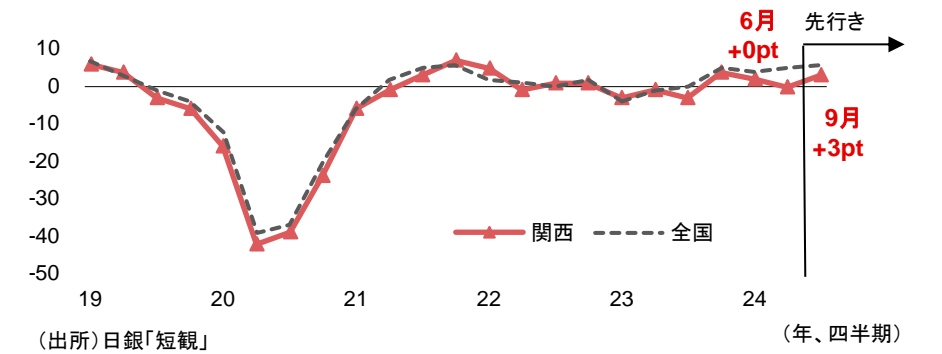
企業景況感(日銀短観) ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査の業況判断DI(「良い」-「悪い」)は、全産業で+9ptと3月調査と同水準。製造業は0ptと2pt低下、非製造業は+17ptと1pt上昇した。業種別に見ると、製造業では鉄鋼、金属製品が大幅に低下した。非製造業では引き続きすべての業種で「良い」超となったがDIは低下した。先行き(9月)については、製造業は上昇、非製造業は低下が見込まれている。

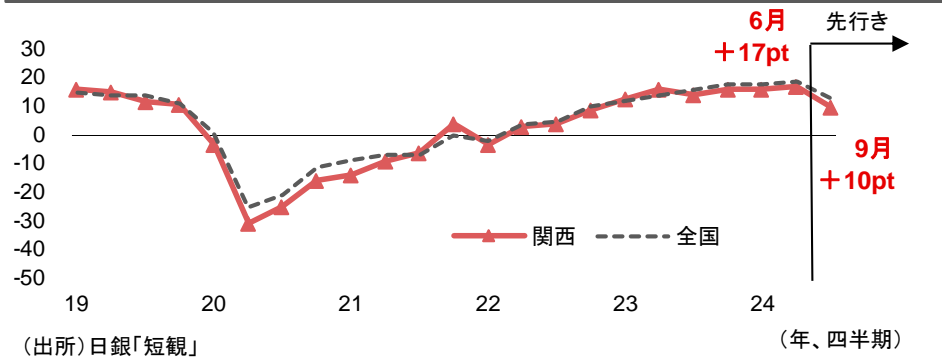
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



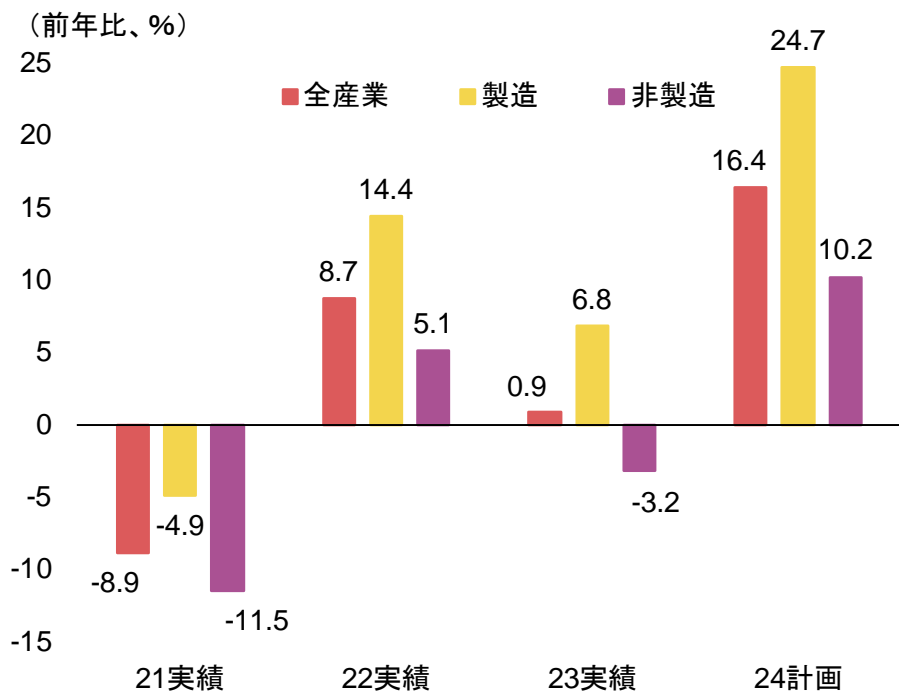
同 非製造業



設備投資※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査によると、24年度の設備投資は前年比+16.4%と高い伸びが見込まれている。製造業では、はん用・生産用・業務用機械、金属製品等が、非製造業では、建設、卸売、宿泊・飲食サービス等が高い伸びを見込んでいる。

設備投資 実績・計画



設備投資額(前年比%)

設備投資額(前年比%)

| | 23年度 実績 | 24年度計画 | | |
|------|------------|--------|--------------|------|
| | | 今回調査 | 前回調査との 差異 | 前回調査 |
| 全産業 | 0.9 | 16.4 | (13.8) | 2.6 |
| 製造業 | 6.8 | 24.7 | (14.2) | 10.5 |
| 非製造業 | -3.2 | 10.2 | (13.0) | -2.8 |

(出所)日銀大阪支店「短観」

(年度)

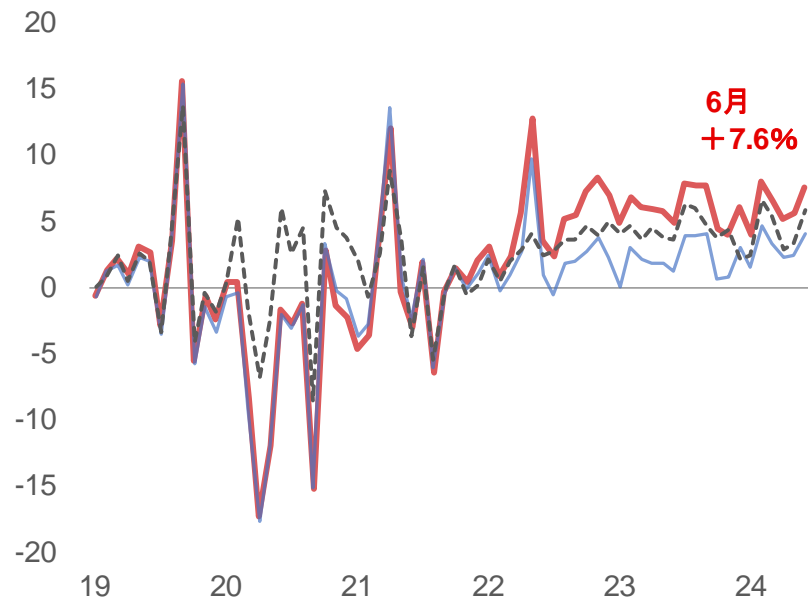
(注)設備投資は、含む土地投資額

個人消費(小売売上、自動車販売)

6月の小売販売額(名目)は前年比+7.6%と33ヵ月連続でプラスとなった。実質値を試算してみても前年比増加が続いているが、個人消費の動きはインバウンドによる押し上げ分を割り引いて見る必要がある。6月の新車販売は、前年比-5.9%と6ヵ月連続でマイナスとなった。普通車、小型車、軽自動車、いずれもがマイナスとなった。

小売販売額(6業態計)

(前年比、%)



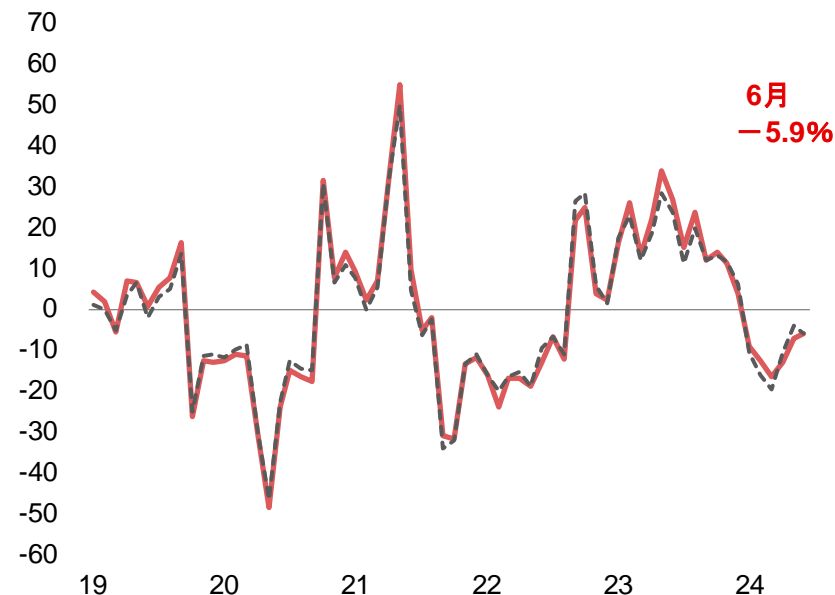
— 関西(名目) — 関西(実質) - - - - 全国(名目) (年、月)

(出所) 経済産業省「商業動態統計」からMURC試算

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計
「持家の帰属家賃を除く総合(関西)」で実質化

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



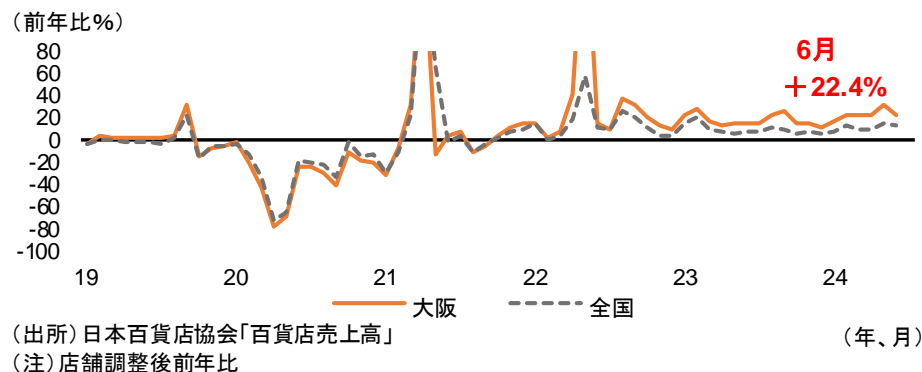
— 関西 - - - - 全国 (年、月)

(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

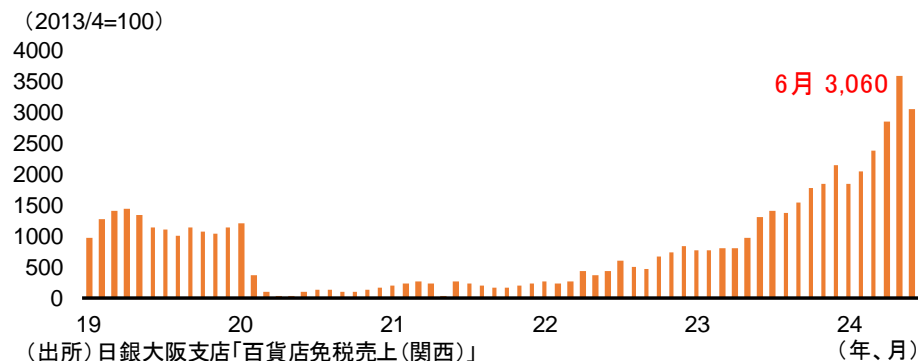
個人消費(業態別)

6月の百貨店売上(大阪)は、高額品販売の好調、インバウンドの増加などにより、前年比+22.4%と33ヵ月連続でプラスとなった。6月の京阪神百貨店免税売上指数は、訪日外客数の増加、物価上昇の影響もあって、前年比+134%増の3,060となった。

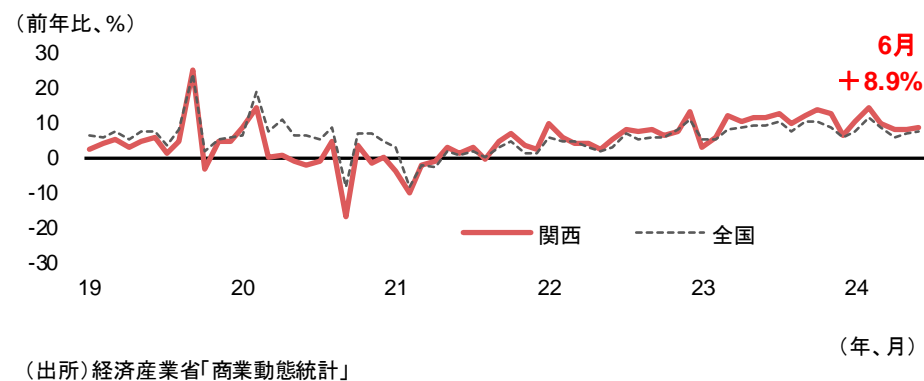
百貨店売上高



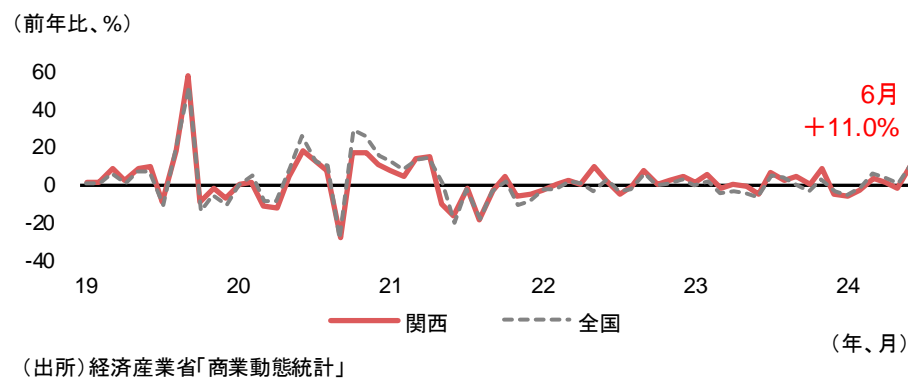
京阪神百貨店免税売上高



ドラッグストア販売額



家電大型販売店販売額

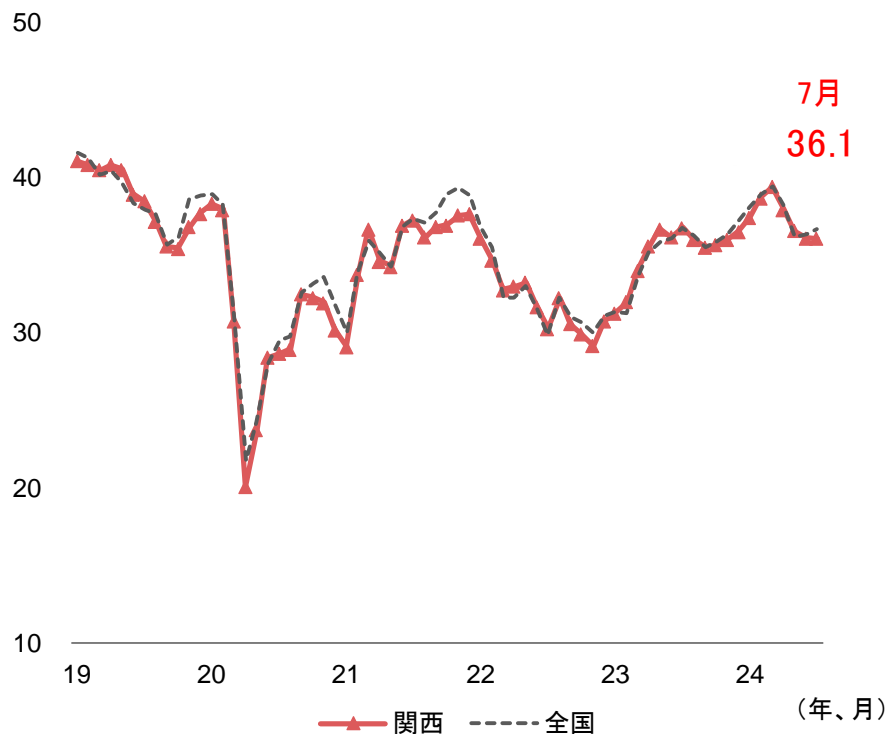


マインド・景況感

7月の消費者態度指数(季節調整値)は36.1と4カ月連続で低下した。

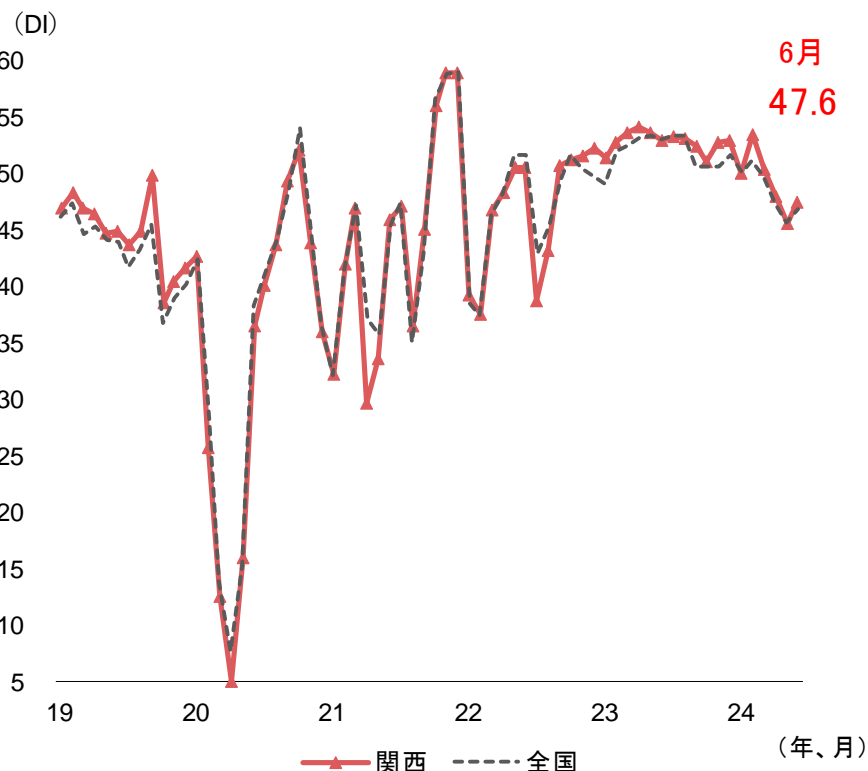
6月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は前月差1.9pt上昇の47.6となったが、横ばいを示す50を3カ月連続で下回った。インバウンドが引き続き好調である一方で、物価高、コスト高が景況感を引き下げている。

消費者態度指数



(注)関西の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

景気ウォッチャー調査(現状判断)

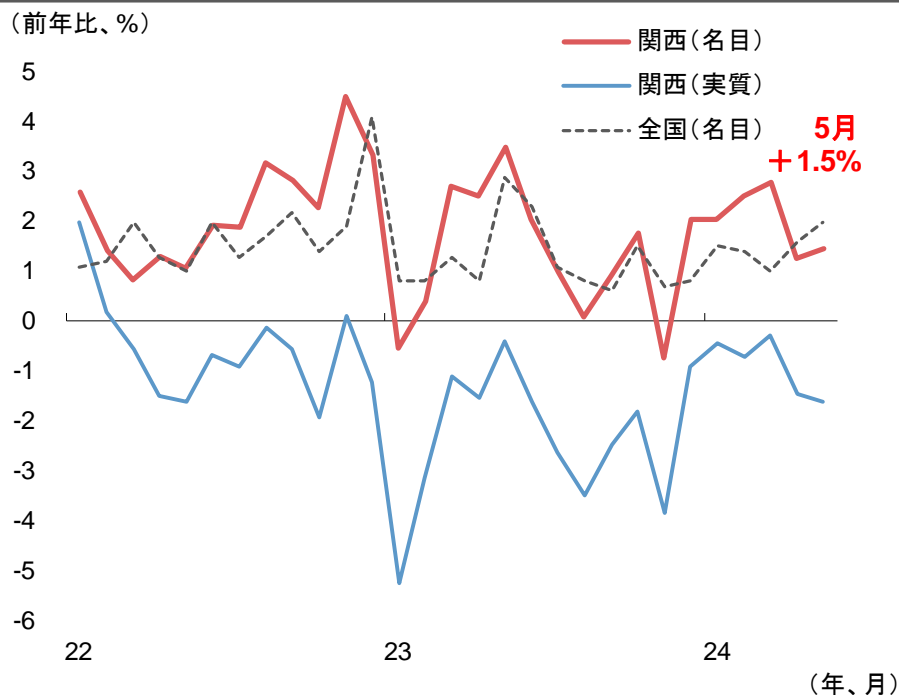


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

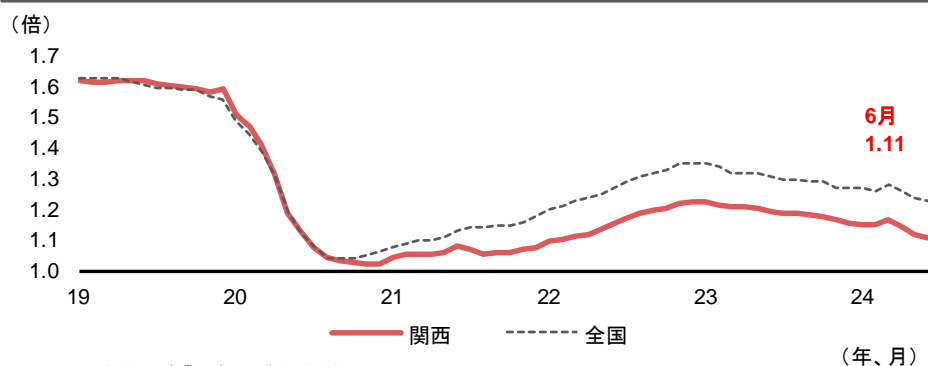
5月の関西の名目賃金指数は前年比+1.5%と6カ月連続でプラスとなった。実質ではマイナスが続いている。6月の有効求人倍率は1.11倍と前月から小幅低下。求人倍率は全国と比べ低めで推移している。24年4-6月期の失業率は2.6%と前期から低下、就業者数は増加した。

名目賃金指数



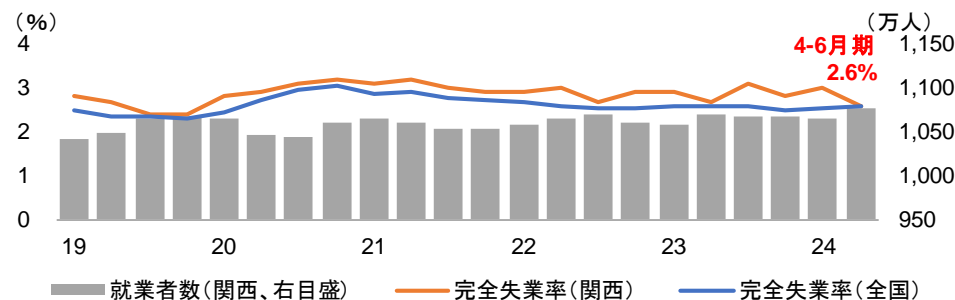
(出所) 関西2府4県の名目賃金指数(現金給与総額)、常用雇用者指数よりMURC作成
(注) 「持家の帰属家賃を除く総合(関西)」で実質化

有効求人倍率(季節調整値)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数(季節調整値)

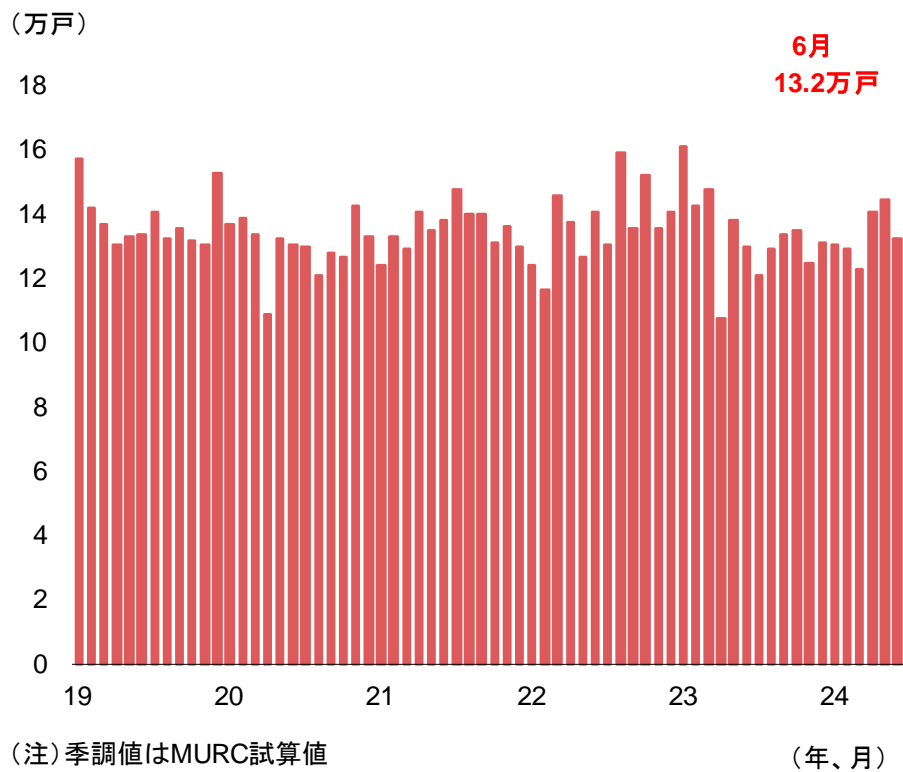


(出所) 総務省「労働力調査」

住宅投資

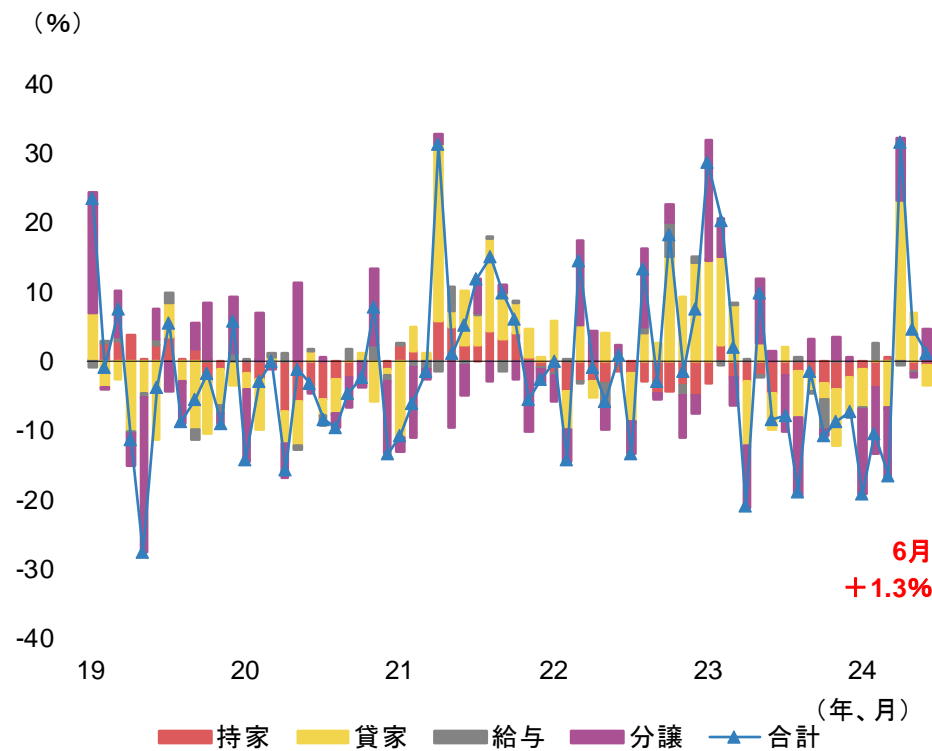
6月の住宅着工は、季調・年率13.2万戸と3ヵ月ぶりに前月比で減少した。前年比では、持家、貸家が減少したが、分譲マンションが増加し、全体で+1.3%と3ヵ月連続で増加した。関西の住宅投資は、均してみると横ばい圏で推移している。

新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

新設住宅着工戸数(前年比)

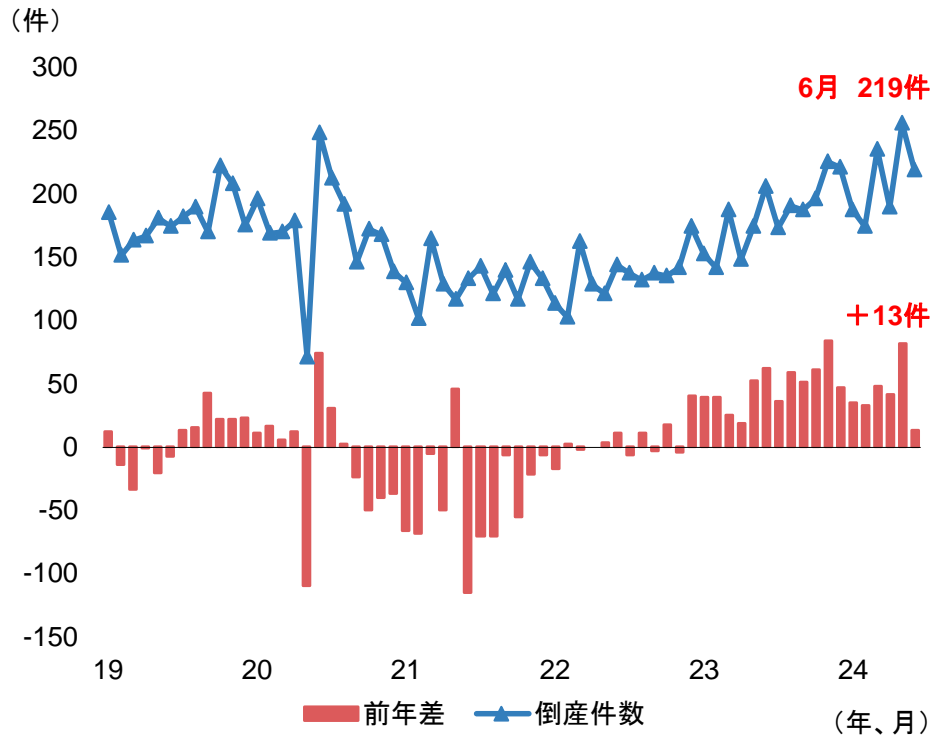


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

6月の倒産件数は219件と前年から13件増加。前年からの増加が続いており、コロナ前程度の水準で推移している。

倒産件数

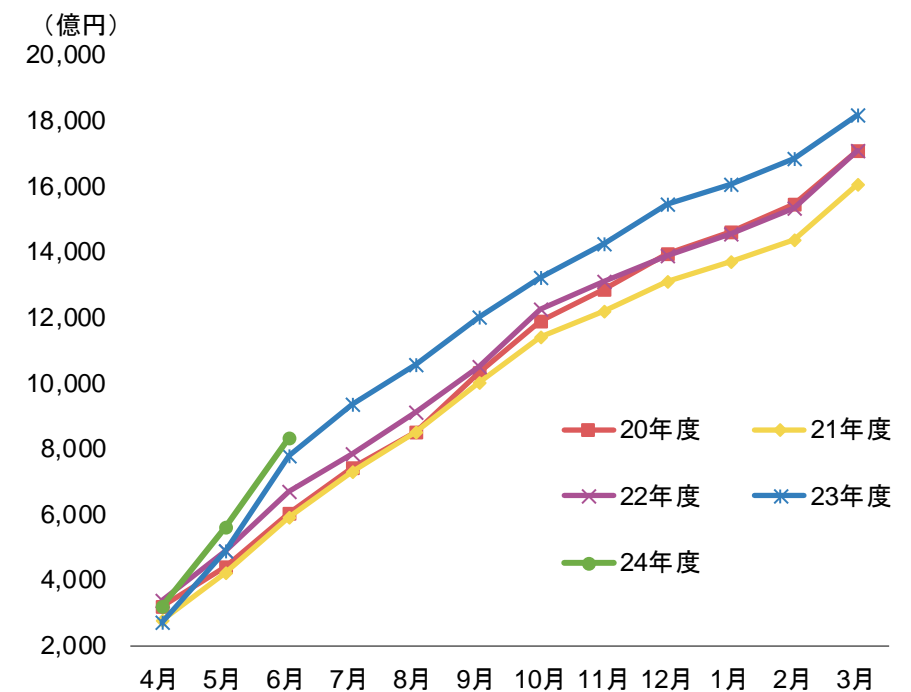


(出所)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

6月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比+7.1%の8,339億円。高めの水準となっている。

公共工事請負金額(年度累計)



(出所)東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー